

会議録

| | | | |
|--------------------|---|-------------------|------|
| 会議名 (審議会等名) | 第4期第7回相模原市南区区民会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通) | | |
| 開催日時 | 平成29年10月31日(火) 10時00分~11時31分 | | |
| 開催場所 | 南区合同庁舎3階 講堂 | | |
| 出席者 | 委員 | 19人(別紙のとおり) | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 17人(南区長、副区長、他15人) | |
| 公開の可否 | 可 | 不可 | 一部不可 |
| | 傍聴者数 | 0人 | |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議の公開について <ol style="list-style-type: none"> (1) 傍聴の許可について 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 無作為抽出型区民討議会について (2) 働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について (3) 世代間交流を促進するための人材育成事業について 4 その他 5 閉会 | | |

審議経過

主な内容は、次のとおり。()は会長、 []は委員、 { }は事務局の発言)

1 開会

2 会議の公開について

(1) 傍聴の許可について

傍聴希望者 なし

佐藤区長、松下会長のあいさつの後、議事が進められた。

3 議題

(1) 無作為抽出型区民討議会について

資料に基づき、事務局から説明。

区民会議委員の役割は何か。

ワークショップに入っただき、進行やファシリテートのサポートをお願いします。

発表・投票の説明についてだが、「優劣をつけることを目的でなく、どの提案に賛同したかの目安とする」となっているが、「賛同」という言葉を使うと優劣がつく印象がある。「共感」等にしたらほうが良い。

表彰はあるのか。

優劣をつけるものではないため、ない。

「 [] をブラッシュアップ!! 」には、既存の団体等が入るとのことだが、一般の方がどのような団体等があるかわからないと思うので、ファシリテーターがうまく先導する必要がある。

初めは資料に具体的な団体等を記載していたが、自由な発想を阻害してしまう可能性があるため、記載しないこととした。ファシリテートの中で、「例えばこんな地域活動があります」のような促しをしながら、進めていく。

無作為抽出の3,000名について、地区ごとに参加者が偏っているが、地区によって人数や世代等を調整して依頼をかけているのか。

地区については、なるべく均等になるように抽出しており、近い地区を少なく、遠い地区を多くするような調整は行っていない。

やはり交通の便があるので、毎回の傾向である。次回以降の課題として抽出方法を検討する

と良い。

討議で出たアイデアをどのように、活用していくのか。

討議で出たアイデアを受けて、区民会議で検討していきたい。良いヒントが出ることを期待している。

グループ数は、どのように調整するのか。

これまでの例では、大体10名前後の方が当日来られないことがある。当日の状況を見て、お越しいただいた世代などを見ながら、グループ数を増減して調整する。

今回は、若い方も多く参加承諾しているようなので、これをきっかけに若プロにも参加して欲しい。

これまで3回開催し、何かに反映されているのか。

「若い世代のまちづくりへの参画促進」をテーマに取組んでいた際に開催した回では、「まちづくりのトリセツ」や提言書に反映をしている。今回も活用していきたい。

(2) 働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について

資料に基づき、事務局から説明。

地域活動の情報がないという意見も出てきていたが、実は多くの情報が行政等から発信されている。ただし、上手く伝わっていないことが多い。どうすればそれがうまく伝わるのか、その対策が難しい。

私が注目したのは、地域活動に「誘われない」から参加していないという意見である。やはり、何かあったときに声をかけたら、それを機会に参加するという人もいると思う。

いずれにしても、地域のすべての人が興味をもって参加するということはある得ないし、難しいことだと思うが、「参加したい」あるいは「参加する機会があるなら参加したい」という人たちに、参加する機会がないことは良くないので、仕組みを考えていく余地がある。

これだけの率直な声が集まるデータは中々ない。とても良いアンケートである。

どんな活動があるかわからないというのは、おそらく、本人が情報を取りにいけないからだと思うので、告知が弱いということよりも、本人にもっとアンテナを張ってもらえるようなテーマなどを出していかなければと感じた。

自治会活動の情報も多くあるが、例えば、回覧を夫婦の片方だけが見て回してしまうことなどがある。

子育て世代の意見で、「子どもの面倒をみてもらえるなら参加する」とあったが、例えば、その方たちに興味があるテーマで、保育環境を整えた上で、どれだけ参加してくれるのか試みることも良いと思う。

交通安全協会でも若い世代の活力を期待しており、昔、朝の通学路に緑のおばさんが立っていたが今では担い手がいなくなってしまう、交通安全協会の役員が担っている。

また、青パトで広報活動を行っているが、高齢化が進み事故の心配もある。今回のような討議会を通して若い人たちと交流を持てることが良い。

このアンケートは自治会の立場からすごく参考になった。平日の昼間に地域活動に参加できるという方は、恐らく、お子さんが幼稚園や就学している時間なら、ということだと思う。相模台地区の自治会の会議では、最近、お子さんを連れて来られる方もいる。子どもがうるさくて申し訳ないと言いながら参加され、周りの反応も賛否両論ある。しかし、これからは、子供を預ければ自治会の事業や活動に参加できるなら、何か対策を少しずつ考えて、観念を考え直していかなくてはと感じた。

今までの粛々とする会議の方法では、参加できる人が限られてきてしまう。子どもが遊んでいても気にならない環境が必要である。できるだけフランクに集まって会議ができるようになると良い。

子どもを預かる体制が整っていれば参加できるという意見があるが、地域の団体はほとんどがボランティアで活動をしている。そういう立場の人たちが開催するに当たって、保育の環境を整えることは中々難しいと思う。

参加者が増えることは必要であるが、高齢化が進む中で、団体側が担いきれない面も出てくる。自立して動いていただくことも必要である。

その視点も重要であり、要望だけではなく、自分でも少し努力するということである。

それにはやはり、まちづくりの活動が大事だということが理解できないと、意味のないことに参加すると思われる。このような活動がなければ、私たちの暮らしそのものが困ったことになるということを、伝えていくことも私たちの課題としてある。

保育の環境を整えることは、命を預かることや場所の問題など様々な課題があり、とても難しいものである。子どもを預けて、何かやるうということも大事だと思うが、保育を念頭に入れるのであれば、保育についてきちんと考えてからではないといけない。

今は日本の社会構造自体がドラスティックに構造転換をしている時期だと思う。アンケートの回答も多様になっている。これは様々な考え方を持つ人が非常に増えていて、私たちはそのような環境の中で社会参加をどうするかということ、これからは前提として考えていかなくてはならない。

まちづくりの問題は、自分でやるより人に頼んだ方が得という考えがある。それをどのように乗り越えていくかということが、テーマである。色々な答えがあるが、私は、まず皆がやらなければだめだという価値を何とか伝えるということが必要であると思う。

(3) 世代間交流を促進するための人材育成事業について

資料に基づき、事務局から説明。

この事業を行ったきっかけは、既存の会議が形式的になっていると、参加する人の発言する場がないことや、自分の意見が受け入れられないというように思うこともあるので、地域の会議などで、もっとフランクに話すことができる手法を学ぶ必要があると考えたからである。区民会議の委員は地域のリーダーの方が多く、地域の会議で自由に話せる雰囲気づくりを考える機会として、牧之原市から講師をお呼びした。

ここで学んだ知識を、これからの地域と会議におけるあり方という形で、第4期区民会議の報告の中にも入れたい。

研修に参加したが、「気軽に！楽しく！中身濃く！！」のキーワードが印象的であった。やはり楽しくないと、「押しつけられている」「自分だけが嫌な役目を背負っている」などの思いを持ってしまう。

ポイントと感じたのは、会議も一色ではなく、集まる人によって時間などの会議のあり方を決めることが良い。それが楽しい会議であれば、嫌なものではなく、引き続いていくと思う。市の行事、市政やまちづくりに参加というと堅苦しい雰囲気のイメージがある。ファシリテートの手法によって、距離が近くなると感じた。このような手法が公的な場でも広がっていけば、より市政や区政が身近なものになってくる。

公的な場での会議は今までは一色であったように思う。南区区民会議では、フランクに話ができるように取組んでいる。事務局から「説明を受けて・質問して・終わり」というような会議では効果が薄い。皆で知恵を出す会議にしなければいけない。ただし、既存の形式の会議も必要なので、様々な状況に応じた適切な会議の方法が大事である。

当日のワークショップでは、皆、笑顔で話をしていて全員が会話に加わって、とても良い時間を持てた。ワークショップの機会を持てると、その中で何か新しいものが生まれてくるように思う。

アイスブレイクがとても盛り上がり一体感が出たためか、皆で色々な意見を出すことができた。通常、発表者を嫌がる傾向があるが、皆が発表したがった。

それぞれの強みや持ち味を出す機会を作れば、参加してみようという人が出てくる。様々な人の出番をつくる仕組みの一つとして、ファシリテーター研修は非常に参考になる。

これからまとめていく中で、南区の一つの財産になるようにしたい。

4 その他

事務局から次回の日程については、12月に開催する旨報告。

5 閉会

松下会長のあいさつの後、閉会。

相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

| | 氏名 | 所属等 | 備考 | 出欠席 |
|----|-------|--------------------------|-----|-----|
| 1 | 赤司 澄子 | 相模原・町田大学地域コンソーシアム総務課長 | | 出席 |
| 2 | 荒俣 大 | 公募委員 | | 出席 |
| 3 | 飯村 和道 | 女子美術大学芸術学部教授 | | 欠席 |
| 4 | 石井 正彦 | 麻溝地区まちづくり会議会長 | | 欠席 |
| 5 | 伊藤 重俊 | 相模原市地区社会福祉協議会連絡協議会南地 | | 出席 |
| 6 | 井上 信 | 公募委員 | | 出席 |
| 7 | 井部 弥生 | 相模原市民文化財団総務課長 | | 出席 |
| 8 | 大木 恵 | 大野南地区まちづくり会議会長 | | 出席 |
| 9 | 鎌田 成美 | 区内大学生 | | 出席 |
| 10 | 嘉松 皓 | 東林地区まちづくり会議会長 | | 出席 |
| 11 | 草津 成 | 伊勢丹相模原店総務部マネージャー | | 欠席 |
| 12 | 草薙 喜義 | 相模原市社会福祉法人経営者協議会監事 | | 出席 |
| 13 | 坂本 堯則 | 相模原市自治会連合会会長 | 副会長 | 欠席 |
| 14 | 篠塚実希子 | 相模台地区まちづくり会議副会長 | | 出席 |
| 15 | 白井 憲二 | 相模原商工会議所 2号議員 | | 出席 |
| 16 | 鈴木 貴市 | 相模原市南交通安全協会会長 | | 出席 |
| 17 | 瀬尾 守一 | 相武台地区まちづくり会議会長 | | 出席 |
| 18 | 田中 美加 | 北里大学看護学部教授 | | 欠席 |
| 19 | 中村 方子 | 相模原市民生委員児童委員協議会会計 | | 出席 |
| 20 | 古田 政子 | 子育て親育ち応援団 With . cfc 副代表 | | 出席 |
| 21 | 穂苅 健二 | 新磯地区まちづくり会議会長 | | 出席 |
| 22 | 松下 啓一 | 相模女子大学人間社会学部教授 | 会長 | 出席 |
| 23 | 森 逸雄 | 大野中地区まちづくり会議会長 | | 出席 |
| 24 | 義見 亮太 | 相模原青年会議所理事長 | | 欠席 |
| 25 | 若林 美佳 | 公募委員 | | 出席 |



第 4 期

第 7 回相模原市南区区民会議 次第

日時 平成 2 9 年 1 0 月 3 1 日 (火)
午前 1 0 時から
会場 南区合同庁舎 3 階 講堂

1 開 会

2 会議の公開について

3 議 題

(1) 無作為抽出型区民討議会について

(2) 働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について

(3) 世代間交流を促進するための人材育成事業について

4 その他

5 閉 会

南区区民会議 F a c e b o o k

(平成 2 9 年 6 月 1 6 日 ~ 1 0 月 2 7 日)

掲載件数 : 4 件

閲覧者数 : 2 , 6 5 2 人

いいね数 : 4 4 件



URL:<https://www.facebook.com/sagamiharasi.minamiku.kuminkaigi/>

平成29年度 無作為抽出型区民討議会

「わいわいみんなで語ろう Part 4 ～一語り行こうぜ！～」開催について

開催の目的

16歳以上の区民3,000名を無作為に抽出し、市政や区政に関するテーマを議論してもらうことで、サイレントマジョリティーの把握と、まちづくりへの興味や関心を持ってもらうことを目的とします。

実施日程等

日時 平成29年11月11日(土)
13:00～16:30(開場12:30)

場所 南区合同庁舎3階 講堂

参加者 無作為抽出による希望者(10/28時点)52名(別紙)
(予定) 区民会議委員 14名
南区若者参加プロジェクト実行委員会委員 8名

主催 相模原市南区区民会議・相模原市南区役所

共催 南区若者参加プロジェクト実行委員会

事務局 南区役所区政策課

検討体制

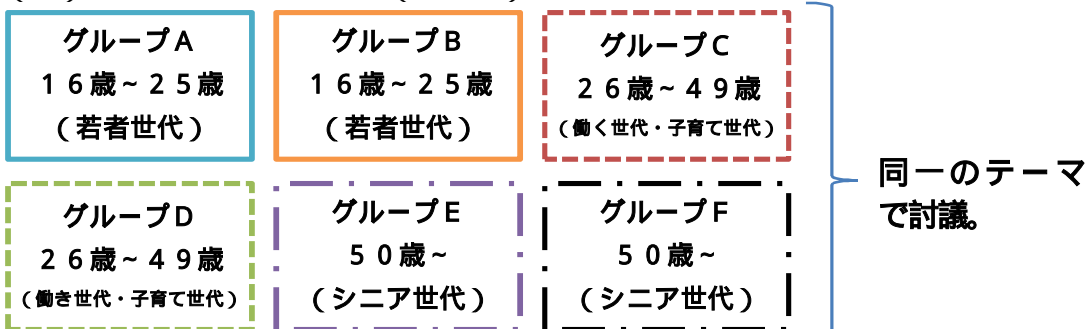
運営委員会(区民会議委員3名、若プロ委員14名)

開催方法

- 1 テーマ「世代間交流促進のための仕組みづくり」
- 2 具体的な討議テーマ
 - (1)「まちづくりって何だろう？」…前半(別紙様式1)
 - (2)「 をブラッシュアップ!!」…後半(別紙様式2)
とは…地域参画の仕組みや既存の地域団体等

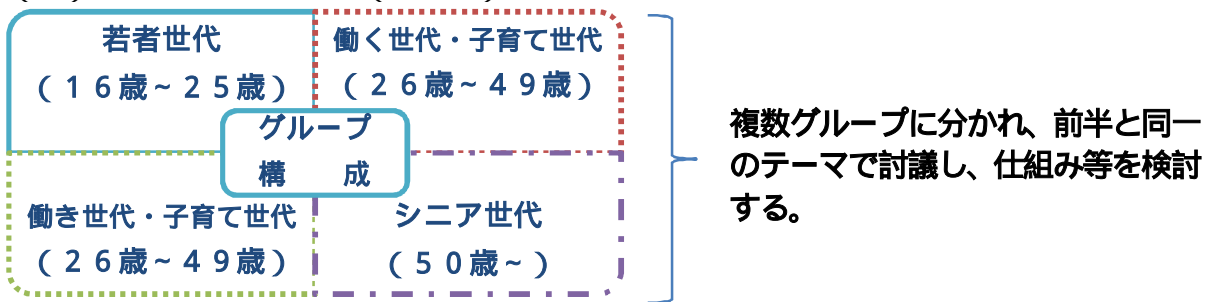
3 討議方法

- (1) 前半：世代ごとの討議(40分)



世代ごとの意見や考え方の共通認識を図ります。

(2) 後半：世代間の検討 (70分)



世代ごとの意見や考え方の違いを認識する。
 世代ごとの違いを踏まえた仕組みづくりを検討する。

(3) 発表・投票



投票は、参加者がどの提案に賛同したかの目安とするもので、優劣をつけることを目的としたものではありません。

ファシリテーター

各グループでは、ファシリテーター研修会(7/22開催)に出席した区民会議委員(運営委員会委員)及び若プロ委員がファシリテートを行います。

スケジュール

| | |
|--------|--------------------------------|
| 7月11日 | 第1回運営委員会(実施方法の検討) |
| 7月24日 | 第2回運営委員会(実施方法の検討) |
| 8月28日 | 第3回運営委員会(役割分担の検討) |
| 9月13日 | 参加依頼通知の発送 |
| 9月15日 | 広報南区版、市ホームページ上での掲載(参加依頼通知について) |
| 10月1日 | 3,000名からの回答取りまとめ、参加者名簿の作成 |
| 10月3日 | 参加希望者あて開催通知発送 |
| 10月10日 | 第4回運営委員会(レイアウト、資料作成、役割分担等) |
| 10月15日 | 広報南区版、市ホームページ上での掲載(区民への開催周知) |
| 10月28日 | 第5回運営委員会(最終確認) |
| 10月31日 | 区民会議への報告 |
| 11月11日 | 討議会の開催 |

提案された意見の活用方法

南区区民会議の検討テーマである「世代間交流促進のための仕組みづくり」の検討材料とする。

前半討議「“まちづくり”って何だろう？」

ここでの「まちづくり」とは、団体活動等のソフト的な分野として考えてください。

| グループ名 【 】 | あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。 | まちづくりへの参加は大切だと思いますか | 誰が主体的にまちづくりを推進していくべきだと思いますか。 | まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア |
|---------------------------|-----------------------------|---------------------|------------------------------|-----------------------|
| 自 分 の 意 見 | | | | |
| グ ル ー プ の 意 見 | | | | |
| ま と め | | | | |
| 備 考 | | | | |

後半討議「**をブラッシュアップ!!**」

各グループで1枚作成(模造紙サイズ)

前半討議「まちづくり」って何だろう？」

| 若い世代の意見 | 働く世代・子育て世代の意見 | 高齢者世代の意見 |
|---------|---------------|----------|
| | | |



認識・考え方が異なる事項

| |
|--|
| |
|--|



認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア

| |
|--|
| |
|--|



アイデアを活かした世代間交流のための仕組み

【団体名称等】

『

』

【内容】

・

・

【必要なこと】

・

・

・

2017.10.28時点

わいわいみんなで語ろうPart 4 ~一語り行こうぜ! ~ 参加承諾者状況

| | 10代 | | 20代 | | 30代 | | 40代 | | 50代 | | 60代 | | 70代以上 | | TOTAL |
|--------------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 大野中 | | 2 | | | 1 | 2 | 3 | 1 | | | 1 | 2 | | 1 | 13 |
| 大野南 | | 5 | 2 | 2 | 1 | | 2 | 3 | | 1 | | 4 | | 1 | 21 |
| 麻溝 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 新磯 | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 3 |
| 相模台 | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | 3 |
| 相武台 | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 東林 | 1 | | | | 1 | 4 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 9 |
| 住所未記入 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| TOTAL | 2 | 8 | 2 | 3 | 4 | 7 | 5 | 6 | 0 | 1 | 3 | 7 | 1 | 3 | 52 |
| 年代計 | 10 | | 5 | | 11 | | 11 | | 1 | | 10 | | 4 | | 52 |
| 承諾率 (%) | | | | | | | | | | | | | | 1.74 | |

働く世代・子育て世代へのインタビュー事業について

1 アンケートの進捗について

回収枚数：551件

【内訳】

- | | |
|--------------------|------|
| (1) 相模原高等学校付属光明幼稚園 | 116件 |
| (2) 日産自動車相模原部品センター | 40件 |
| (3) 無作為抽出型区民討議会通知 | 395件 |

参考（目標調査件数）

300件程度

調査対象の一部を調べることで調査対象全体を推測する「標本調査」を参考に調査件数を決定した。

「標本調査」における必要調査件数は、対象者10万人程度の調査を行う場合、271人から回答を収集する必要があるとされており、働く世代・子育て世代を20歳代から50歳代とした場合、南区では約14万6,000人が対象となり、約300件のアンケート調査を実施することとする。

2 アンケート集計状況について

別紙『「南区区民アンケート集計表」【中間報告】』参照

3 今後の進め方について

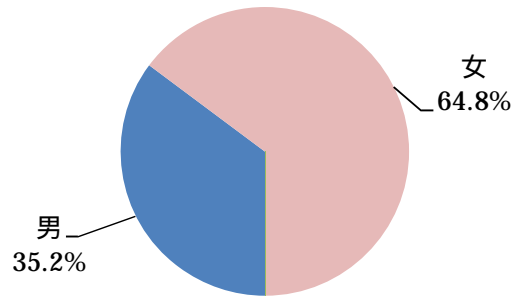
- (1) 無作為抽出型区民討議会に向けて、働く世代・子育て世代に分けたクロス集計などを実施し、それぞれの世代の考え方について取り纏めていく。
- (2) 学生によるインタビューを実施し、アンケートでは聞き取りきれっていない自由記述部分を主眼において調査を実施する。
- (3) 無作為抽出型区民討議会での意見や(2)学生によるインタビューの結果を活用し、今後の提言書等への取りまとめに反映していく。

以上

「南区民アンケート」集計表【中間報告】

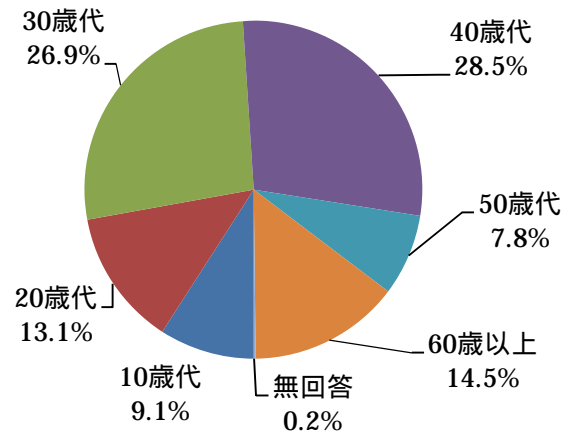
問1 あなたの性別を教えてください

| | 回答数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| (1) 男 | 194 | 35.2% |
| (2) 女 | 357 | 64.8% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 計 | 551 | 100.0% |



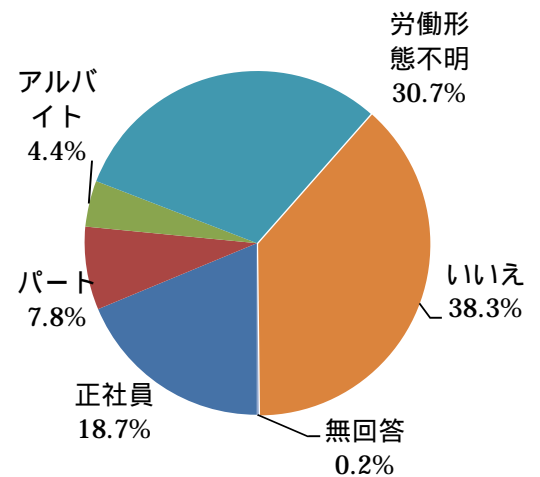
問2 あなたの年齢を教えてください

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 10歳代 | 50 | 9.1% |
| (2) 20歳代 | 72 | 13.1% |
| (3) 30歳代 | 148 | 26.9% |
| (4) 40歳代 | 157 | 28.5% |
| (5) 50歳代 | 43 | 7.8% |
| (6) 60歳以上 | 80 | 14.5% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 計 | 551 | 100.0% |



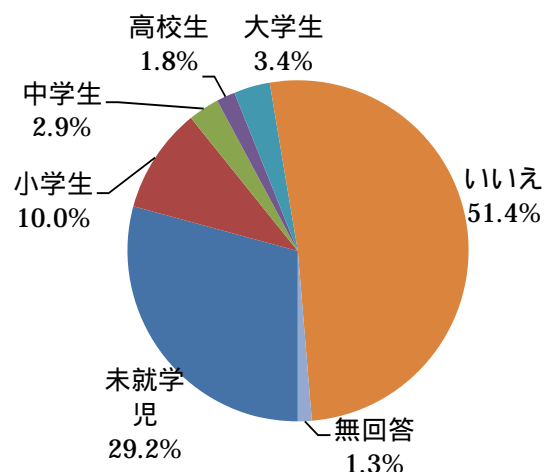
問3 あなたは、今、仕事を持っていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) 正社員 | 103 | 18.7% |
| (2) パート | 43 | 7.8% |
| (3) アルバイト | 24 | 4.4% |
| (4) 労働形態不明 | 169 | 30.7% |
| (5) いいえ | 211 | 38.3% |
| 無回答 | 1 | 0.2% |
| 計 | 551 | 100.0% |



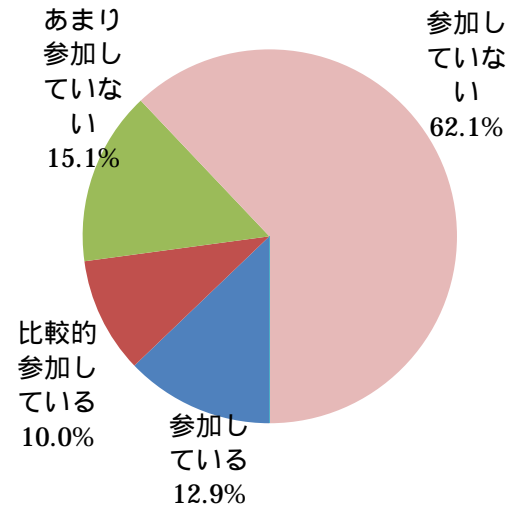
問4 あなたは、今、子育てをしていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|----------|-----|--------|
| (1) 未就学児 | 161 | 29.2% |
| (2) 小学生 | 55 | 10.0% |
| (3) 中学生 | 16 | 2.9% |
| (4) 高校生 | 10 | 1.8% |
| (5) 大学生 | 19 | 3.4% |
| (6) いいえ | 283 | 51.4% |
| 無回答 | 7 | 1.3% |
| 計 | 551 | 100.0% |



問5 あなたは、地域活動に参加していますか

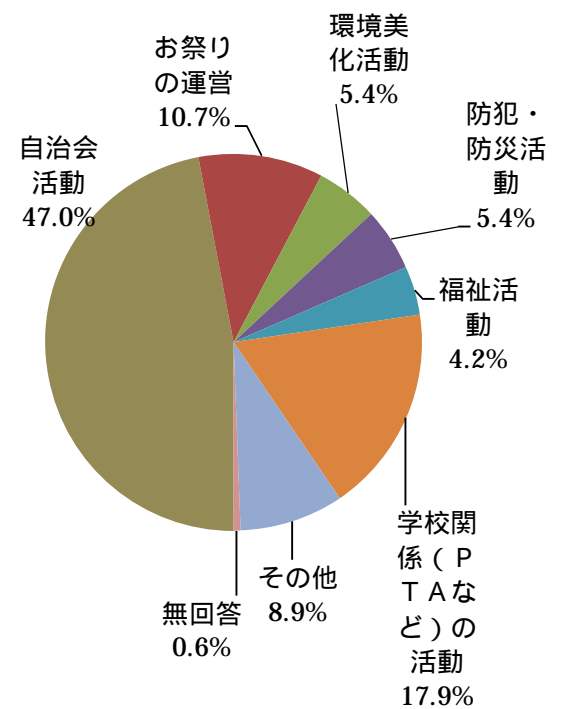
| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 参加している | 71 | 12.9% |
| (2) 比較的参加している | 55 | 10.0% |
| (3) あまり参加していない | 83 | 15.1% |
| (4) 参加していない | 342 | 62.1% |
| 無回答 | 0 | 0.0% |
| 計 | 551 | 100.0% |



問6 あなたは、どのような地域活動に参加していますか（回答2つまで）

（問5で、（1）参加している、（2）比較的参加していると答えた方のみ）

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------------|-----|--------|
| (1) 自治会活動 | 79 | 47.0% |
| (2) お祭りの運営 | 18 | 10.7% |
| (3) 環境美化活動 | 9 | 5.4% |
| (4) 防犯・防災活動 | 9 | 5.4% |
| (5) 福祉活動 | 7 | 4.2% |
| (6) 学校関係 （PTAなど）の活動 | 30 | 17.9% |
| (7) その他（記述回答等） | 15 | 8.9% |
| 無回答 | 1 | 0.6% |
| 計 | 168 | 100.0% |



【問6 記述回答】

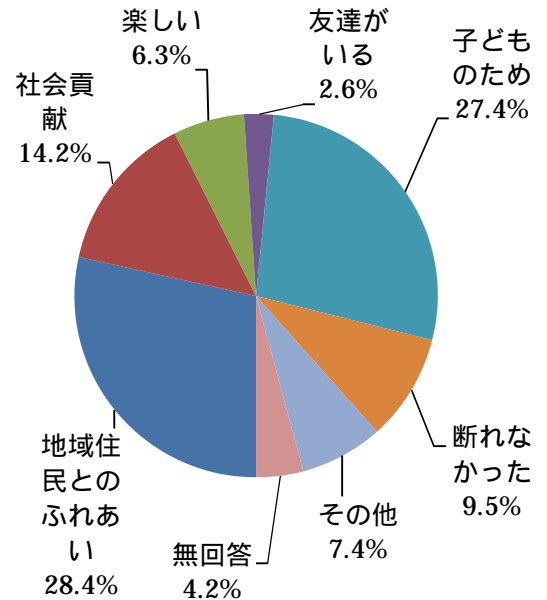
- ・こども会
- ・サークル
- ・地域の青少年にスポーツ指導
- ・Jr.リーダー
- ・相模原「宇宙の学校」
- ・高齢者福祉施設での楽器演奏
- ・産業廃棄物環境推進員
- ・相模原おやこ劇場
- ・伝道活動
- ・職場での地域連携活動
- ・親子サロンサポーター

- ・ファミリーサポート
- ・市保健所委託事業（わかな会）

問7 あなたが、地域活動に参加している理由を教えてください（回答2つまで）

（問5で、（1）参加している、（2）比較的参加していると答えた方のみ）

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 地域住民とのふれあい | 54 | 28.4% |
| (2) 社会貢献 | 27 | 14.2% |
| (3) 楽しい | 12 | 6.3% |
| (4) 友達がいる | 5 | 2.6% |
| (5) 子どものため | 52 | 27.4% |
| (6) 断れなかった | 18 | 9.5% |
| (7) その他（記述回答等） | 14 | 7.4% |
| 無回答 | 8 | 4.2% |
| 計 | 190 | 100.0% |



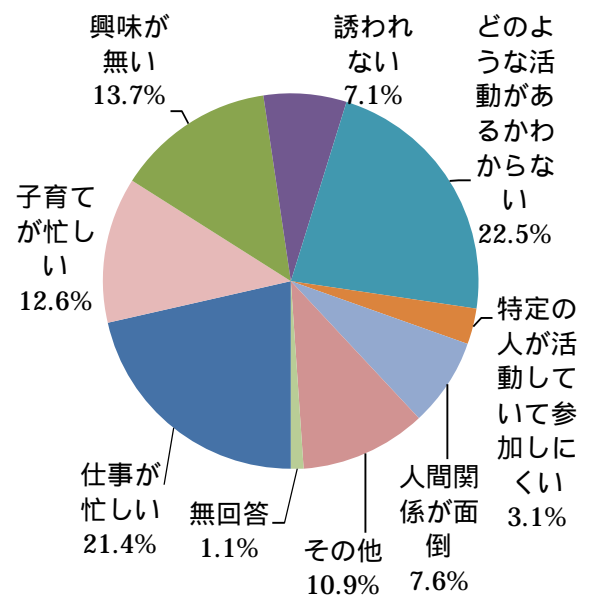
【問7 記述回答】

- ・強制的な雰囲気のため。
- ・母親として小学校が始めてのため、少しでも知れるように。
- ・子供の頃に怖い思いをし大人への逃げ道がほしかった。
- ・自分の健康のため。
- ・仲間が出来る。異年齢の交流が出来る。語り合える。
- ・自治会活動は、高齢者ばかり、または同じ人ばかりで、やる方がいないので仕方なく。
- ・輪番制のため。
- ・地域のことについて知りたいため。
- ・有事の際の備えのため。

問8 あなたが地域活動にあまり参加していない、または参加していない理由を教えてください（回答2つまで）

（問5で、（3）あまり参加していない、（4）参加していないと答えた方のみ）

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------------|-----|-------|
| (1) 仕事が忙しい | 138 | 21.4% |
| (2) 子育てが忙しい | 81 | 12.6% |
| (3) 興味が無い | 88 | 13.7% |
| (4) 誘われない | 46 | 7.1% |
| (5) どのような活動があるかわからない | 145 | 22.5% |
| (6) 特定の人活動して参加しにくい | 20 | 3.1% |
| 無回答 | 3 | 1.1% |



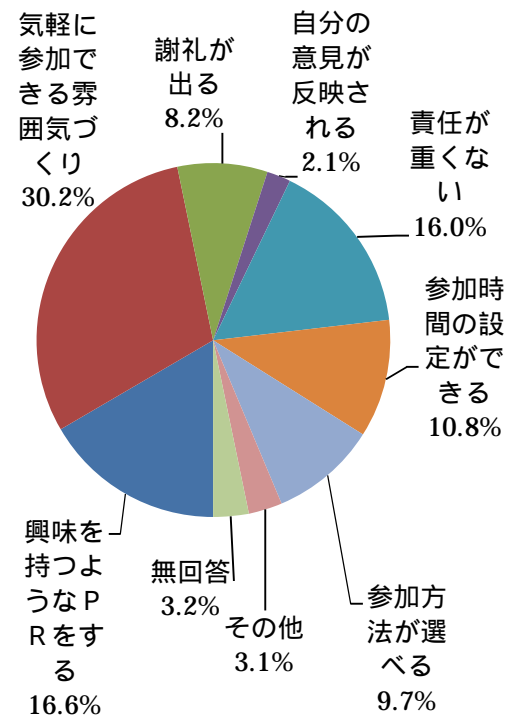
| | | |
|----------------|-----|--------|
| (7) 人間関係が面倒 | 49 | 7.6% |
| (8) その他（記述回答等） | 70 | 10.9% |
| 無回答 | 7 | 1.1% |
| 計 | 644 | 100.0% |

【問8 記述回答】

- ・子育て・仕事・家事で時間が限られ、運営側は難しい。
- ・マンション住まいで、自治会に加入していないため。
- ・病気のため。
- ・引っ越してきたばかりのため。
- ・高齢のため。
- ・機会があれば参加したい。
- ・マンションの管理組合の役員に輪番でなれば、自治会担当で地域活動に参加する。
- ・孫の面倒を見ているため。
- ・老人介護のため。
- ・独身でアパート一人暮らし。他市での勤務で、かわりが少ないため。
- ・単身赴任で、家族が相模原市にいない。
- ・マンションの理事をしているので忙しい。
- ・自治会活動は主人（または妻）が行っているため。
- ・母子家庭で子供を預けてまで参加したいと思わない。
- ・活動日・時間が合わない。
- ・自治会の役員は順番のため、まだ回ってきていない。
- ・休みがないため。
- ・どこで募集しているか知らなかった。
- ・運営側での参加は、自分では能力不足・適さない。
- ・マンションでは回覧板等の地元の情報を得る機会がなく、地域活動の参加方法が分からない。
- ・趣味などに時間を使っており、関心を向けていなかった。
- ・仕事が福祉活動・地域活動です。
- ・自治会の役員は輪番で参加しているが、自主的にはしていない。祭りなどの行事は見る側で参加。
- ・参加資格にあてはまらない。
- ・フルタイムの仕事と家族の介護で時間がとれず、余裕もないため。
- ・チャンスがなかった。もう少し広範囲の活動へは参加している。
- ・去年PTAでお祭り担当をして楽しかったが1歳児連れで疲れることもあったので今年休もうと思った。
- ・当番になった年は参加、他は参加する場面が思いつかない。
- ・転勤で住んでいるので、地域になじみがない。
- ・子供がいないので地域活動に触れる機会が少ない。
- ・地域に活動がないから。
- ・どうしたら参加できるのかわからない。

問9 地域活動に参加しやすくするためには何が必要だと思いますか（回答2つまで）

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------------|-----|--------|
| (1) 興味を持つようなPRをする | 155 | 16.6% |
| (2) 気軽に参加できる雰囲気づくり | 282 | 30.2% |
| (3) 謝礼が出る | 77 | 8.2% |
| (4) 自分の意見が反映される | 20 | 2.1% |
| (5) 責任が重くない | 150 | 16.0% |
| (6) 参加時間の設定ができる | 101 | 10.8% |
| (7) 参加方法が選べる | 91 | 9.7% |
| (8) その他（記述回答） | 29 | 3.1% |
| 無回答 | 30 | 3.2% |
| 計 | 935 | 100.0% |



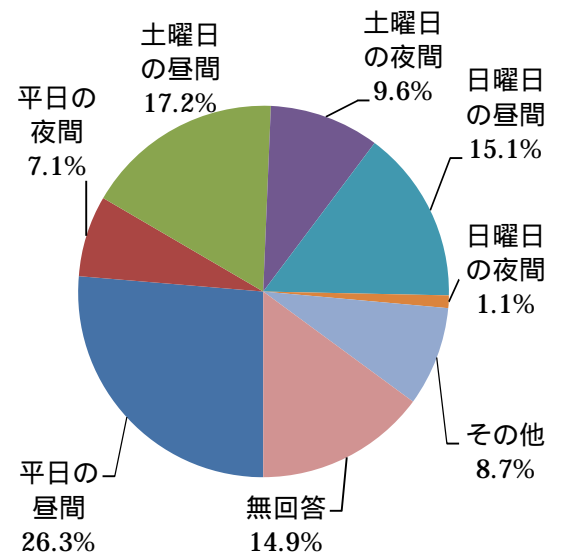
【問9 記述回答】

- ・人と関わることで子供自身もコミュニティーが広がり、協調性が育まれると思うので出来るだけ参加はしたい。
- ・少人数で準備や手伝いをすると大変なので、多人数で分担できれば、面倒も減らせる。子供を預けられる、または、一緒に連れて行けること。
- ・特定の人で固まらない配慮が必要。（初めての人が参加しやすいように。）
- ・一度参加すると、任期があるのになかなかやめさせてくれない。
- ・世代間でお互いに年代の性質を理解して関わろうとする意識。それをハッキリ名言してくれる人が責められないことがよい。
- ・まだまだ田舎で旧住民が受け入れない。
- ・意識あるのみ。他力はだめ。
- ・情報の供給が受け入れやすいこと。
- ・ロードフェスタなどの行事があるのは知っているが、参加方法がわからない。（主催者側として）
- ・結果が明確に自覚できることが必要と思われる。
- ・考えたことがない。
- ・お弁当とかが出る。
- ・時間や生活にゆとりが持てるようになれば・・・。
- ・活動に参加するには、その内容に責任を持たないと出来ない。安易は不。
- ・最初のきっかけは、何かの強制力。得るものがあると実感出来れば、その後行くかも。
- ・お店の割引券をもらえる。

- ・本人の参加意欲がないと無理だと思う。
- ・地域住民との関係作り（隣人でも挨拶をしない場合が多い）。
- ・自らの退職後。
- ・市民生活への還元が分かりやすく示されること。
- ・重い負担を必要することはない。
- ・地域活動の必要性をPRする。
- ・賃貸に住んでいるので、回覧板等もなく参加したくてもどうしたら良いか不明。広報の方法が重要。
- ・目的別のチーム編成と任期付の評価チーム。
- ・子育て世代が参加しやすくなるよう、保育園の整備（特に乳児）。
- ・会社と市が連携する。

問10 あなたが地域活動に参加しやすい日時を教えてください。

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 平日の昼間 | 145 | 26.3% |
| (2) 平日の夜間 | 39 | 7.1% |
| (3) 土曜日の昼間 | 95 | 17.2% |
| (4) 土曜日の夜間 | 53 | 9.6% |
| (5) 日曜日の昼間 | 83 | 15.1% |
| (6) 日曜日の夜間 | 6 | 1.1% |
| (7) その他（記述回答等） | 48 | 8.7% |
| 無回答 | 82 | 14.9% |
| 計 | 551 | 100.0% |



【問10記述回答】

- ・子供の預け先がないため、どの時間も難しい。
- ・子供の保育があるのであればいつでも。
- ・子育て中に参加できる時間はない。
- ・仕事が休みで未就学児を連れて行ける時間。
- ・子供の部活や習い事に合わせているので、予定が分からない。
- ・子供が家にいない時間。
- ・不定休のため選ぶことができない。
- ・昼夜仕事があるので時間が無い。
- ・仕事が休みの日。
- ・急な変更があるので決められない。
- ・平日の午前中。
- ・曜日によって違う。
- ・今は自分の自由な時間があまりない。
- ・現在は難しい。

- ・ 土日は仕事のため、休みの日であれば。
- ・ 大型連休。
- ・ 用事がなければ。
- ・ 仕事に時間をとられているのに、休時間を使う余裕はない。
- ・ 自営業なので調整可能。
- ・ 自営業を辞める以外に参加できない。
- ・ 休日前の夜間。
- ・ ない。
- ・ 参加したくない。
- ・ シフトで働いているので難しい。

問 1 1 問 6 の活動以外で、参加したい活動があれば御記入ください (参加したい活動)

- 1 子供と一緒に参加できるようなもの。(もちつき、芋掘り、お祭り、クリスマス会など)
- 2 相模原出身の有名人との地域PRイベント。区対抗イベント企画。アート、トリエンナーレ(田舎都会っぽく、精練されすぎないもの。)
- 3 自分と同じ状況の人が多くいる活動。仕事をもちながら少しの時間でできる活動。
活動を通して、子育ての悩みも話せてスッキリするかも。"
- 4 フリーマーケット
- 5 高齢化社会に向けて、介護のボランティアなどしてみたい。(知識を身に付けたい)
- 6 語学教室、外国人交流イベント
- 7 子供が楽しめるもの
- 8 親子で体を動かして楽しく活動できるイベント(スポーツ、ストレッチ等)
- 9 同じ年代の子育てしているママとの集まりで、気軽に行けるイベント。趣味の発表会。
- 10 子供たちのふれあい。
- 11 ハンドメイドの会(子連れで参加できるもの。) 農業・家庭菜園のレクチャー。
- 12 子供たちのイベント。
- 13 「ママのため・子供のための」みたいな活動
- 14 イベント企画
- 15 旅行に行ったりしたい
- 16 ラジオ体操などの身体活動
- 17 平日で出来る事があれば検討します(火・水)
- 18 本に関するボランティア
- 19 お年寄りのボランティア。リハビリ活動を主にしたい
- 20 お祭り。来年子供が小学生なので、参加せざるを得ない。
- 21 障がい者支援
- 22 自然環境観察員制度
- 23 夏休みのラジオ体操

- 24 学校関係
- 25 森の保全整備
- 26 福祉活動
- 27 絵や制作などイベントの装飾
- 28 少人数での（10人程度）活動だと参加しやすい。高齢者でも出来るような多種、多様なテーマがあると参加しやすいと思う。
- 29 文化活動～皆で協力してつくりあげるようなもの
- 30 土いじり
- 31 工作活動。学生やアマチュアが活躍できる催しがあればいい。
- 32 人と交流がもてる活動
- 33 在日外国人の生活支援活動（日本語教育など）や捨てられた動物の命を救う活動（飼い主探しなど）に興味があります。
- 34 家から近くの場合（遠いところしかない）
- 35 動物愛護活動
- 36 松下村塾のように、お互いに得意なことを教えあったり、お茶を飲んだり地域の方たちと親しくなれるような活動
- 37 ゴミ拾い、祭り、ギネス記録更新など楽しみながら地域の方と触れ合えるイベント。
参加率もよく地域貢献に繋がると思う。運転マナーが悪く（古淵だけ？）夜のバイク騒音が大きいので、治安が良くないと感じている。子供が安心して生活できるように、地域活動を通して改善できたらと思います
- 38 10代～20代の人々との次世代交流
- 39 公務員が偉そうに幅をきかせないで、住民主体の活動
- 40 無作為抽出型区民討議会など
- 41 世代間で交流できるような活動。
- 42 企業の就労体験
- 43 子供たちがスポーツを好きになるような活動。
- 44 学習のお手伝い
- 45 高齢化に向けて子供と一緒にできる福祉活動など
- 46 子供の芸術文化活動
- 47 野菜の育て方や食育につながるイベント。
- 48 映写会など。
- 49 ウォーキングと観光

問 1 2 その他（地域活動に参加すること等について、自由に御意見を御記入ください）

- 1 P T A活動など持ち回りや立候補となっているが、どの家庭にも事情があるので、必ず1回というもおかしなルールである。結果名ばかりで活動に参加しない人がいて、周りが穴埋めしなくてはならない。活動回数・日時・頻度なども見直すべき。
- 2 子供会の役員をしているが、雑務に追われ、何のための会か忘れてしまう。地域活動も何のためであるか目的や意味を考えなくてはならない。イベントなども立ち上げ者の情熱は薄れていき、こなしていくだけのものになってしまう。参加すること=こなすこと、ではなく、一緒に作り込む事であれば、地域活動に参加することが有意義と感じられるのでは。
- 3 地域活動に参加することで、近所付き合いや世代を超えて知り合いになったり、仲良くなったりできた。
- 4 子連れで参加できるものが少ない。参加しづらい。
- 5 ある程度のグループが既にできていると、どんな活動でも参加しづらい。
- 6 地域活動に興味がない。
- 7 友達（ママ友）が増えると面倒。家族の時間を割いてまでやりたくない。
- 8 子供が小さく運営側にはなれない。子供に負担をかけたくない。住んでる地域の自治会役員も一部の人ばかりが負担になっていることはわかるが。何か良い方法を見つけていく時だと思う。
- 9 近所に知り合いがいないので、参加しなければならない行事でなければ積極的には参加しない。
- 10 昔と違い、最近はほとんどの人が仕事を持っているので、自主的に地域活動に参加する人は少ないと思う。自分達に関わりのある活動なら、順番でもくじでも参加してもらうようにしたほうが良いのでは。
- 11 小さい子供がいると地域活動に参加できないので、保育してくれる場を整えて欲しい。
- 12 地域の行事などには、なるべくできるようにしているが、運営側や役員はできない。小さい子供がいて仕事をしていると難しいのが現状。役員を引き受けて下さる方々に感謝している。
- 13 ご近所さんのお誘いや回覧板等での募集があり、小さな子供連れでも参加できるものならお手伝いしたいと思う。
- 14 市民歴が短いので、なかなか参加しづらい。
- 15 子供がいる日は参加が難しい。子供と一緒に参加できる（理解がある）と有難く参加しやすい。
- 16 あまりにも回数が多いと参加できない場合があるから、数ヶ月に1度のペースにする

のが良いと思う。

- 17 小さい子がいると大変でいくことができない。小さい子がいる家庭は免除にして欲しい。
- 18 地域の自治会活動に参加していますが、地域によっては年配の方が多い地域もあります。お祭り、その他の活動が負担になっていることもあるかもしれません。地域のコミュニケーションは必要ですが、それが負担になってしまっは、良くないのかも。義務ではなく気軽にできれば。
- 19 ご家族連れならまだしも、自分のような単身者に地域活動がどれほどのメリットがあるのか分からない。問 9 の謝礼についての記載があるが、現在はボランティアなのか？だとしたら、もっと気軽に参加できるようであってほしい
- 20 自治会活動の主体が年配の方々。手伝おうと声を掛けても、年寄り扱いするなというような態度。協力しようとする気持ちがなくなった。これでは参加する若者は増えない。
- 21 引きこもりの 30 代。友人を亡くし、今はひとりぼっち。預貯金で暮らしているのでお金がない。人見知り。
- 22 自治会・町内会といった組織では構成員が義務・義理という感が多い。NPO 活動のような一つの目的に向かう活動が参加しやすい
- 23 自治会が重荷だ。本当に必要？みな活動が多いと思っている
- 24 まず”面倒”とういのが念頭にあるので、地域活動の情報は自ら収集しません。でも、興味がある地域活動には参加したいと思っています。
- 25 人生はますます長くなり、80・90 まで生きるのが当たり前になってきた。収入を得る活動期も伸びるが、人生の充実をはかる活動は、ますます重要になるはず。当たり前のように皆が地域活動に参加したくなるような文化を育てていくことが必要。今は参加する人・しない人がハッキリ線引きされているというのが現実で残念です。
- 26 あえて地域活動というくりでなくても、自宅での近隣とのコミュニケーションをとることから始めようと思う。今までは両親がそうしていたが、自分も今までの挨拶を続けつつ、困っていることがあったら手伝えるような関係性を築けるように、心がけたいと考える。
- 27 現役世代を離れてから、人的なネットワークを維持するのに必要なものだと思いますし、活動することでの生き甲斐や、社会貢献によるやりがいも得られるので、参加しやすいものから参加できればと思います。
- 28 相模原市をよりよくしていくことに貢献でき、地元でのなかまづくりができる機会が得られれば嬉しく思います。
- 29 どんな活動がどこであるか分からないので知りたいです
- 30 仕事や子育てに忙しい中、皆さん時間をやりくりして子ども会などの役員をやっています。少しでも謝礼などが支払われれば、苦勞も報われるのに・・・と思います。
- 31 私くらいの年齢になると、介護者が多数いると思います。私自身もその一人。義母の

- 介護をしています。私自身も下肢の障害があり、子供も自閉症です。そんな中でも自治会に参加しているが、時間がとれないのは事実です。もっと多くの方が”道のゴミを一つ拾う”そんな事から始めたらいかがでしょうか
- 32 活動。とは人が集って成し遂げる事ばかりではないと思う。交流も活動員が人々に呼びかけ集い、テーマに沿って会話をする場だけで生まれるものではない。私のように、そっとしておいてくれる大人の児童館は在ってほしいひとつだ。そんな自然と交流が生まれる場を作ってほしい。
- 33 徒歩で参加できる事が一番。大切だと思うが、なかなか実行できない。
- 34 地域活動に参加することによって、地域の課題も分かるし交流も図れるので良い事だと思います。
- 35 地域で何が必要か、地域住民の困っていること、テーマとは違いますが、世代間でできることに興味を持っています。
- 36 突然のお便りに驚きましたが、楽しそうな企画ですね。
- 37 子供が興味を引く・やりたい!と思う企画が減っている。おばさん達しか楽しむことができない行事だ。よく「子供も楽しめるようにする地域づくり！」っていう口だけの大人がよくいる。その人達の行動を正したい。
- 38 今は育児で忙しく参加できないが、落ち着いたら参加してみたい。集金等は一度にまとめて回収してもらえたら、とても助かります
- 39 集合時間や担当する係りなど、縛られることがあると「出来ない」につながるので、個々が出来ることを出来る範囲でやる柔軟性が必要だと思う。以前のやり方を変える、出来るように変えていく事も大事
- 40 地方出身で、頼る人が身近にいないため、子供も小さく参加しても迷惑と思い参加しづらい。子供が成長したら、清掃活動は家族で参加したいと思います。
- 41 限られた団体に所属する人達が多く、意見が集約されやすいため、参加の意義を認めないです
- 42 とても良い事だと思いますが、大人になればなる程、一人では参加しづらいイメージがある
- 43 学校があるので参加できません。すみません。
- 44 ゴミ集積場まで行けない(行くのが困難な方)高齢者、障害者の方への支援者の募集をし、配置することが出来ないか。近隣での支援
- 45 相模原市社会福祉協議会「いるかバンク」に登録していますが、活動をさらに活発にしてほしい
- 46 現在在職中ですが、3月に退職予定です。地域活動の拠点をもっと参加しやすい方法で、地域を広めていけたらと思います。退職したら参加していきたいと思います。
- 47 最近、専業主婦の方が少なく、仕事をしている女性が多く、男性も仕事で忙しく、ボランティアに協力する人は同じ人になる事が多い印象。「無くなればいいのに・・・」との

声も。子供が小さい専業主婦の方は外に出る機会が少なく寂しい思いをしている気が・・
ボランティアの間、保育をしてもらえる・謝礼が出る等があれば、気分転換にもなるし、
参加してくれるかも。

- 48 現在 66 才。体力がある間に、地域コミュニケーションを活性化する環境を整える活動に協力したい。
- 49 人・各々・生まれ・育ち・地域の違う中での活動、内容が理解できる事の大切さ、仲間の大切さ。
- 50 子供が小中学生の頃は参加できる活動が多かったですが、それ以上になると、子供の興味の持てるようなものが無く、疎遠になっていく気がします。
- 51 地域の役員さんの顔ぶれが替わらず一緒なので、行事内容に興味を持ってない。役員さんを対象にした研修等をもってもらいたい。
- 52 よくわからない
- 53 同世代の交流は、学校生活などを通してありますが、色々な世代との交流は少ないので、そうした方々と一緒に活動できる機会があれば良いと思います。
- 54 来場者としては、お祭り等のイベントに参加していると思うが、運営側となると、機会が無かったと思う。自治会に加入しているが、行事等の期日が過ぎてから回覧板がまわってくることが多い。
- 55 忙しい方、興味の無い働き盛りの年令よりも元気な定年退職された世代や、子育てを卒業された世代の人生経験豊富な方々の活動を期待します。
- 56 地域活動と聞くと、エネルギー（元気じゃないと参加できない感じ）なイメージで気後れする。ゆったりした時間を共有するだけでも良いと思うが、それは地域活動ではないのか？
- 57 地域清掃には毎回参加している。清掃や除草など、目に見えて結果が出てくるものは今後も参加したい
- 58 新聞を購読していない為、広報に触れる機会もないので（コンビニ等に置いてあるのは知っている）地域活動が行われていることも知らないなので、参加意欲がわからない。数年前に転入して、自治会にも加入しているが、地域の結びつきは全く無い状態です。
- 59 9月に引っ越してきました。ゴミや車の運転、色々なマナーが以前の地域と比べて悪すぎて、これから住み続けるうえで不安を感じます。タバコのポイ捨てなどもひどい。
- 60 地域的に人が少ないため、活動に参加する人もとても少ない。昔から高齢の行事も無理して行っていると感じる。状況に応じて減らしてもよいでは。運営側が大変。
- 61 3000人分の郵送費がもったいない
- 62 これまで地域活動に関わらなかったのは、今まできっかけが無かったことだと思う。今回こういったきっかけを大事に出来たらと思う。
- 63 心がけは良い事だとおもう
- 64 高齢者が気軽に参加できる活動は必要と思うが、高齢者だけが集まるのではなく、若

者・子供と一緒に参加できるようなものが良いと思う。

- 65 運転免許証が無いので、車を使わずに出掛けられる範囲であること
- 66 P T Aや自治会活動等の役員を経験したが、拘束時間が多いのにすべてボランティアでした。仕事を休む分給料が減るので、少しでも謝礼が出たら良いと思う
- 67 定年退職したら、自分の資格を生かして、地域活動をしたい。
- 68 地域活動に参加することは、地域の活性化や人々との交流もでき、一人暮らしの若者や高齢者にとって、よいきっかけだと思う。 情報不足により活動実態を知らずに参加できないのはもったいないと思う。ネット利用で調べる情報ではなく、身近で目にする機会を増やしてはどうか。
- 69 転居や、子育てが終わった人達は、地域活動に入るきっかけがないので、積極的に参加しにくいと思う
- 70 参加して初めて意見も出て関心が湧くのではないのでしょうか？すべも知らず、と奥から眺めているばかりでは、前に進まないと思います。これは自分への反省です。
- 71 子供が小さくなくても（小・中学生）運営側になるのは大変だと思う。何か参加しやすい形はないのかと考えています。
- 72 交流が苦手なので、なかなか機会が無い
- 73 祝日もしくは日曜日にこのような会を開催していただきたい
- 74 地域活動に関する情報の一部が入手できていないような気がする。まちセンなどの掲示板等で、募集している活動と、その詳しい情報の掲載一覧が見られれば参加しやすく助かります。ガーデニングが趣味で、植物に関する活動にも興味があります
- 75 町田市の子供センターによく行きます。町田市には参加したい地域活動がたくさんある。相模原市ではほとんど無い。家からの距離もあるし、魅力を感じない。施設の人も怖いし、入りにくい。
- 76 安全で住みやすい街づくりには、地域活動が大切だと思います。参加しやすい活動があれば検討します
- 77 里親制度について大変興味があったのですが、年をとって体が動けなくなりました。役に立つことがあれば何かしたいと思う気持ちはあります。
- 78 大沼自治会の中に民踊（盆踊り等）の会を立ち上げ、楽しく活動をしています。盆踊り・ふるさと祭り・自治会の会員交流会等、積極的に参加をしています
- 79 今回のお手紙で初めて知りましたが、とてもよい活動をされていると思いました。 当日は都合がつかず、また機会があれば参加したいです。
- 80 必要なことがあれば、自治体の職員が公費でおこなえばよのではないか。
- 81 自分もそうだが、働いている方が多いので、災害の時・具合が悪くなった時などは、地域で助け合いたいと思っています。普段から助け合えるような人間関係づくりを考えていきたい。また、世代を超えた方々とも交流して、多様な考え方などを学びたい。
- 82 誰でも参加できる雰囲気作りは大切だと思う

- 83 地域活動に参加することの以前に、地域活動そのものについて何も知らない。
- 84 子供が小学校に入り、行動範囲が広がったことから、日ごろから大人と子供が地域活動と一緒に参加し、防犯の観点からも、近所にどんな人達がいるのか、また自分自身も覚えてもらうことの必要性を感じている。大人が積極的に（楽しそうに）参加する姿を見せることで、次世代にも繋がると思う。
- 85 東林間の夏の阿波踊りに中学生ボランティアの子供たちが協力していることに大変感謝しています。とても力になっていると思います。
- 86 70歳になり、今は健康で過ごせるようになりました。これからは世の中にお返しをする時間を持てたらと思い、人の助けをしたいと思います
- 87 単身者には地域活動は参加しづらい。
- 88 参加することによる、地域内の人的交流・コミュニケーションの活性化が期待されるのは言うまでもないこと
- 89 別の地域から移り住んでいるので、相模原に対する想いの様なものがない。イベントがあっても意欲的に盛り上げようとはならない
- 90 いずれ時間が出来たら、ボランティアや福祉活動等、参加したい。
- 91 地域活動は、安心・安全が守られることが大前提。（公務員が下手にでなければ、参加したくない。）地域住民としてはやりにくい。
- 92 フルタイムの仕事から帰って、家事をこなさなければならないので、なかなか地域活動参画の時間はとれないが、色々感じる事・考えることはある。時間にしばられないネット参加型の会議や、気軽に投稿できる掲示板のような仕組みがあると良い。
- 93 実際に、地域活動に参加していないのでわからない。広域の活動へは参加している。
- 94 自治会館と児童館が同じ施設内にあるような所があれば、無限に広がるイベントが出来そう。異年齢の交流の有意義、大切さが浸透していけば、もっと活気のある地域が増えていき、心豊かに暮らしを遅れそう。
- 95 仙台より引越してきて、震災を体験してやはり近所付き合いは大切だと実感した。不安な時こそ、地域の皆様と声を掛け合ったりすることで、少しでも楽になったあの時を思い出します。今後も地域活動にはできるだけ参加したい。
- 96 息子夫婦と同居している人で、高齢の親を会員として、高齢を理由に班長などをやらない。それならば、息子夫婦に引き継ぐ仕組みになると良い。
- 97 子供が大きくなってから転居したため、知り合いができにくい。働いているため老人会等の年齢でもなく、地域に知り合いが全くいない。古くから住んでいる方との交流の持ち方もわからない。
- 98 学習ボランティアに興味があるが、受験等のためだと責任が重いので、経済的困難家庭のお子さんのサポート、高齢者の方の学習サポート等、少し興味がある。
- 99 地方出身で、単身でこの町に来た若い人達にとって、いきなり「地域活動に参加」とういのは責任が重く、知り合いもいないので不安である。まずは、市の若者だけで食事

会・飲み会などのコンパやレクリエーションイベントを行うなどして、知り合いを増やしたい。

100 小さい子供がいるママは地域活動をしたいと思っても、日々の子育てで疲れている。保育園の一時保育が気軽に利用できるとうい。ママが働きやすい環境づくりが必要。

101 そもそも地域活動についてよく理解していない。どんな活動があるか、なにが地域活動か、地域の人々の健康を守るのも地域活動なのか、よくわからない。もっと地域活動というものを活性化させ、興味が湧くようにしたら地域全体が今以上に活発で良い環境になると思う。

102 そもそも、どのように地域活動に参加できるのかわからない。

103 30代・40代の勧誘方法を知りたい。(地元の住民少なくなってきているため)

104 町全体が昔からの有力者中心で新しさが感じられない。活性化されていない。

105 転居してきたばかりで、情報の取得方法がわからない。入籍・転入してきた方への広報紙や情報誌の存在を紹介すべきだと思う。

106 地域活動への参加について仕事や家の用事と両立することは難しい。

107 自分の生活の中に必要を全く感じない人は参加することに興味がわかないと思う。
参加する場所にも問題がある。公共の建物は不便なところ・暗い・くつろげない・ダサイなど魅力がない。問題は、地域活動に参加しなくても生活に何の不便もないということころである。

108 子ども会で参加を募集すると集まると思う。(子供や学生が誘ったほうが参加しやすい)

109 今は仕事が忙しく参加の意思はないが、リタイア後など時間が出来たとき、手伝い程度で気軽に参加できるものなら行きたい。活動によっては、男が参加することで何かしらの責任者を依頼されるため、今は参加したくない。

110 盆踊りや祭りの太鼓がうるさい。除夜の鐘や保育園が騒音扱いされる時代なので、もう少し音について考えて欲しい。

111 土日しか参加できない若い世代をどうやって参加させるかが将来の課題である。

112 最近の地域活動(主に自治会活動)は役員の義務的な活動が多い。もっと参加者が楽しめる取組を導入すべき。

113 自治会や地域のおまつりに参加し、多くの人とふれあい、楽しむことは素敵なことと思う。

114 あくまでも、自主活動・ボランティア活動だと思う。参加を強制させたりはなくして、参加したいと思うような活動をするとういと思う。

115 地域住民へのアナウンス方法や休みの多い曜日等、工夫すれば参加率UPにつながると思う。

世代間交流を促進するための人材育成事業について

1 事業実施結果について

(1) 開催日時

平成29年7月22日(土) 午後1時30分から4時30分まで

(2) 会場 相模女子大学マーガレットホール4階 ガーデンホール (南区文京2-1-1)

(3) 講師 6名

【静岡県牧之原市まちづくり協働ファシリテーター】

濱崎 一輝 氏

樽林 千夏 氏

坂口 和巳 氏

絹村 亜佐子 氏 (牧之原市 市民グラフィッカー)

【静岡県牧之原市役所】

加藤 彰 氏 (牧之原市政策協働部長)

宮崎 真菜 氏 (牧之原市政策協働部企画政策課主事)

(4) スケジュール

開会

講師紹介

講義

ワークショップの実践

質疑・応答

閉会

(5) 参加人数 計54名(男:25名、女29名)

主な参加団体等

- ・南区区民会議
- ・民生委員児童委員協議会
- ・各地区自治会
- ・社会福祉協議会
- ・市職員

等

2 ファシリテートの手法について

ファシリテートの手法については、研修当日で実際に行われた流れやファシリテートのポイントを、別添資料「牧之原市流ファシリテートスキル」のとおりまとめましたので御参照ください。

3 今後の取組について【自由意見交換】

「市民ファシリテーター育成研修～静岡県牧之原市講義～」及び「牧之原市流ファシリテートスキル」を踏まえて、今後、南区においてどのような取組をしていきたいか、どのような取組が有効か、自由に意見交換を行ってください。

その結果を踏まえて、今後の提言書等への取りまとめに反映していきます。

以 上

牧之原市流ファシリテートスキル

会議中のファシリテーターの立ち回り

(1) 場の雰囲気づくり・チェック

音楽やアイスブレイクなどを活用して楽しい雰囲気を作っていく。

拍手をしていないグループがいたら、拍手を促す。

模造紙を使って作業をしているグループが、机を挟んで別々の場所から付箋を貼り付けている時は、同じ方向で一緒に並んで作業するように促す。

発表時間に私語をする参加者がいないように、注意を促す。

(2) 会議の進行時間を気にかける

作業が遅れているグループを見つけたら、議題をまとめるように促す。

必要に応じて、全グループに残りの時間をアナウンスする。

(3) 意見の集約

各グループから出された意見の要点を汲み取り、似たような意見をまとめて、集約していく。

心構え

「気楽に！ 楽しく！ 中身濃く！！」

ルール

- 1 自分ばかり話しません
- 2 頭から否定しません
- 3 楽しい雰囲気を大切にします



進行方法

1 開会

(1) ファシリテーターは、マイクを使用すると良い。

誰が会議を進行させているのか、最初に認識させる。

(2) アイスブレイクで、参加者の親近感を創ります。

「こんなことを言っているのかな...?」「場違いじゃないか...?」

緊張感のある堅苦しい雰囲気だと、人は思い切った行動がしづらい。

和気あいあいとした雰囲気が良いアイデアを出すための必要条件。
ファシリテーター役にとっても、アイスブレイクは大事。会議の進行を
やりやすくするためには、場の雰囲気をなごませること。

参考：7月22日（土）に実施したアイスブレイク

『輪ゴム渡しゲーム』

隣の人と手を繋いで、輪になる。

輪ゴムを人差し指にかけて隣の人へ移していく。

輪ゴムが1人に移るごとに1数えていく。

音楽をかけながら楽しい雰囲気で1分間でどれだけ輪ゴムを移動させ
られたかを班対抗で競う。

2 グループでの事前準備

(1) 自己紹介を1人1分で行います

1分という時間を体で覚え、要点を端的に話すことを意識してもらう。

自己紹介では話題を1つ設定する（ex.この夏やりたいこと）

1人1人が話す雰囲気を作っていく。

決められた時間で効率的な議論をするためには、参加者1人1人が時間
配分を意識することが大事。

(2) グループごとに役割分担を決めます

役割分担の例

ア 進行役（グループリーダー）をじゃんけんで決めます

「責任のある役割は遠慮したい...」「進行の方法がわからない...」

立候補を待っても、なかなか人は決まらない。

じゃんけんで勝った人に任せるのは、勝ってうれしい気持ちのまま、
敬遠されがちな役割をやってもらうため。

負けた人に任せるのは、やる気を削いでしまうので厳禁。

イ 記録係（タイムキーパー）を決めます

ストップウォッチで時間を管理する役割。

グループリーダーの左隣に座っている人をお願いする。

ウ 発表者を決めます

グループで出た意見をまとめて、最後に発表をする役割。
記録係の左隣に座っている人をお願いする。

- (3) 資料は事前に配るのではなく、その都度、取りに来てもらいます
4の役割分担で、役割に当たっていない人をお願いする。
メンバー全員で会議を成立させるという「一体感」を創ることが大事。

3 討議と発表

- (1) テーマに沿って、付箋に自分の意見を書きます。

(付箋の色は、テーマごとに使い分けます。)

いきなり話し合いをすることは難しい。まずは付箋に自分の意見を書き、
意見をまとめてもらう時間を設ける(5分程度)

付箋は、発言したことと同じ意味を持つ。

付箋1枚につき1つの意見。例えばグループが6名で、1人5個の付箋
を書けば、それだけで30個のアイデアが出たことになる。

- (2) 発言の後は必ず拍手。その場をみんなで盛り上げよう

拍手には、場を盛り上げるための大きな力がある。

拍手をしていないグループがあれば、ファシリテーターが拍手するよう
に誘導する。

「自分の意見が受け入れられた」という感覚が大事。

- (3) 発表前には「作戦タイム」を設けて、メンバー全員で検討します

子供も大人も「作戦タイム」という言葉にわくわくする。

作戦タイムでは、グループの意見から「この意見を紹介したい」という
ものを3つほど決定し、文章の形で、新しい模造紙にまとめる。

- (4) 発表では全員が前に出ること、質問にも全員で答えます

1人の発表者にすべてを任せないで、全員で質問への応答や補足説明な
どを行うようにする。

【補足】付箋を使った会議の方法

(1) 付箋に意見を書いていく

「議論が一回りしているような...」「あの時の意見は何だっけ...?」

口に出しただけでは消えてしまう意見も、付箋に書けば目に見える形で残っている。いつでも確認できる、いつでも書き足せる（議論の行方が目に見える形でわかる。）

付箋だけではなく、イラストや図式を盛り込んでいくと更に効果的。

(2) 付箋を模造紙に貼り付ける

付箋は発言と同じ意味を持つ。班で順番に模造紙に貼り付けていく。

（模造紙に貼る時は、みんなに読みやすい方向で貼る）

付箋を貼るときには、どうしてそう考えたのか、一言、二言で簡潔に説明する。

全員の意見（付箋）が貼り終わるまで続ける。

(3) 似た意見をまとめていく

付箋を貼り付けるときには、似た意見がないかを周囲に確認する。

似た意見がある人は、貼ってあるものの隣に持ち札から貼り付ける。

貼ってある付箋を移動させたり、付け足したり、マーカーでグルーピングしたりして、意見を目に見える形で集約させていく。

マジックペンを使う際には、黄色は見えづらいためNG。